

# 警戒レベルにあわせた防災・避難行動のポイント

防災で大切なことは「普段からの確認・準備」と「早めの避難行動」です。

## レベル1 「早期注意情報」災害への心構えを高める

## レベル2 「注意報」自らの避難行動を確認

- テレビ・ラジオ・インターネットで「早期注意情報」や「注意報」という情報を見たり聞いたりしたときは、今後の気象情報に注意して災害への心構えを高めてください。
- 実際に避難することになった場合に、家族との連絡方法やどのように行動すればいいのかが改めて確認してください。

### 避難行動のポイント

- 防災マップで、自宅や通学・通勤先等の災害の危険性の有無と避難行動を確認しましょう。
- 防災用品・常備薬・ラジオ・携帯電話の充電を確認しましょう。
- 町が開設する避難所や他の安全な場所への避難の際は、マスク・消毒液・体温計・スリッパなどを用意して感染予防対策にも心がけましょう。

※早期注意情報とは

24時間から2～5日先までの災害に結び付くような可能性について気象庁が提供する情報です。警報や注意報に先立って気象現象を予告し、注意を呼びかけます。



## レベル3 「高齢者等避難」避難に時間のかかる高齢者や障がいのある方は危険な場所から避難

- テレビ・ラジオ・インターネットで「大雨警報」「洪水警報」などが気象庁から発表され、町は気象情報や町内の被害状況などを把握して、避難に関する情報「高齢者等避難」を出す場合があります。

### 避難行動のポイント

- 高齢の方や体が不自由な方などは避難が必要な場合があります。そのほかの方も必要に応じて避難場所や避難時に持ち出すものを確認し、危険を感じたら自主的に避難を始めてください。

## レベル4 「避難指示」危険な場所から全員避難

- 大雨の影響で、土砂災害の危険性がさらに高まり「土砂災害警戒情報」や川の水位が上昇して「氾濫危険情報」などが発表されるような状況です。町は気象情報や町内の被害状況などを把握して、避難に関する情報「避難指示」を出す場合があります。
- 高齢の方などに限らず、危険な場所にいる方は全員避難する段階です。

### 避難行動のポイント

- 避難対象地域の方は、速やかに避難してください。町が開設する避難所へ向かうことが危険な場合は、無理をせず、自宅や勤務場所、親せき・友人宅など安全な場所に移動しましょう。



## レベル5 「緊急安全確保」命の危険・直ちに安全確保

- すでに災害が発生、または発生している可能性が極めて高い状況です。
- 気象庁から「大雨特別警報」や川が氾濫して「氾濫発生情報」が発表され、町は気象警報などの情報に関連して「緊急安全確保」を出す場合があります。

### 避難行動のポイント

- 周囲の状況を確認し、外に出ることがすでに危険な場合は、建物の2階以上や崖の反対側など、少しでも安全な場所で、身の安全を確保してください。